

いしかわの道

県の代表的な事業の紹介

能美市の一体化及び、地域の活性化を図る道路

能美東西連絡道路

整備の目的

「能美東西連絡道路」は、周辺地域に立地する企業の物流の円滑化や、能美旧3町の更なる一体化を図る重要な幹線道路であり、これまでに、県と能美市が区間を分担しながら整備を進めてきました。

現在、県では、能美市中ノ江町から小松市高堂町間の1.5kmについて、平成28年度より、1.0kmのバイパス整備および0.5kmの現道拡幅に加えて、能美市湯谷町地内において、平成30年度より、0.3kmの歩道整備を進めています。

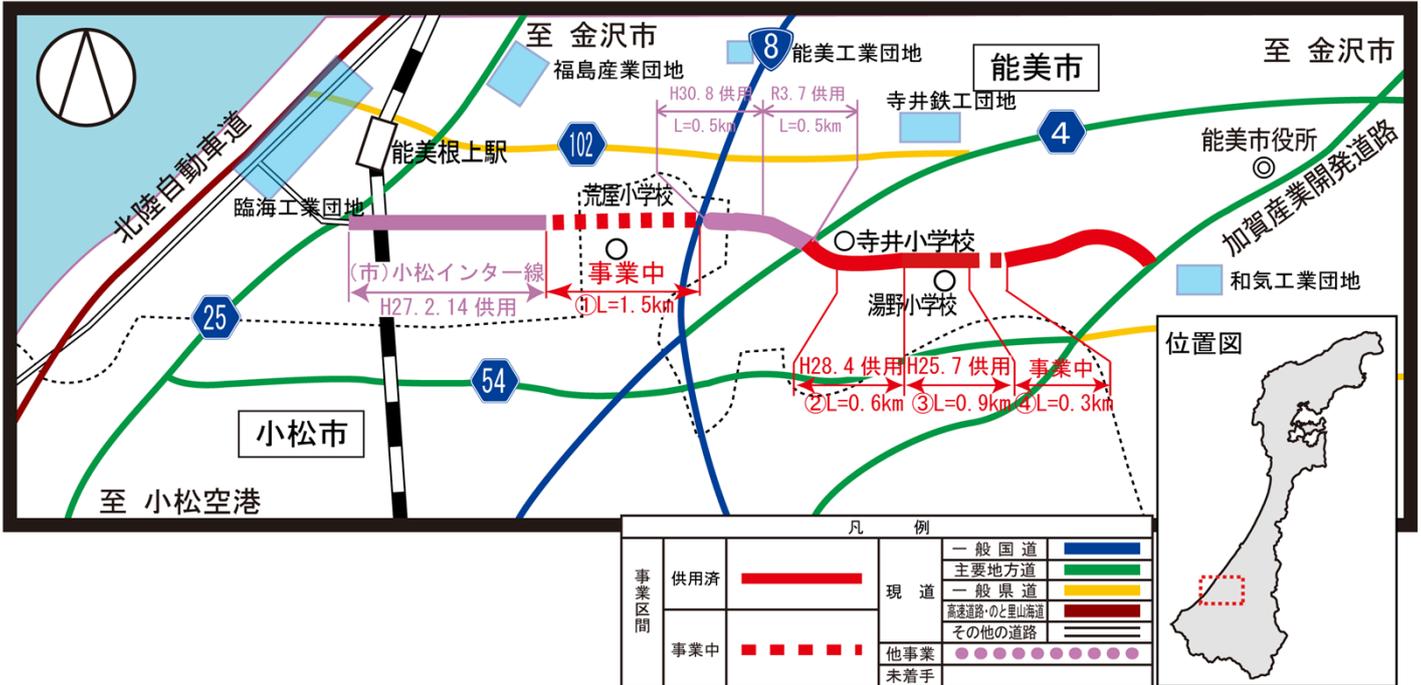
期待される効果

1. 合併支援

当事業区間を含む能美東西連絡道路が整備されることにより、市南部の幹線道路が整備され、能美市の更なる一体化が図られます。

2. 安心・安全の確保

バイパス整備および歩道の設置による交通の円滑化や交通事故の抑制が図られます。



幅員が狭く安全な通行に支障
(小松市高堂町～能美市中ノ江町)
事業中①L=1.5km



バイパス整備
(能美市石子町～末信町)
H28完成②L=0.6km

事業の概要

- 路線名 一般県道 粟生小松線
- 起点・終点 小松市高堂町～能美市中ノ江町
- 事業延長 ①L=1.5km
- 路線名 都市計画道路 高堂泉台線
- 起点・終点 能美市湯谷町
- 事業延長 ④L=0.3km